

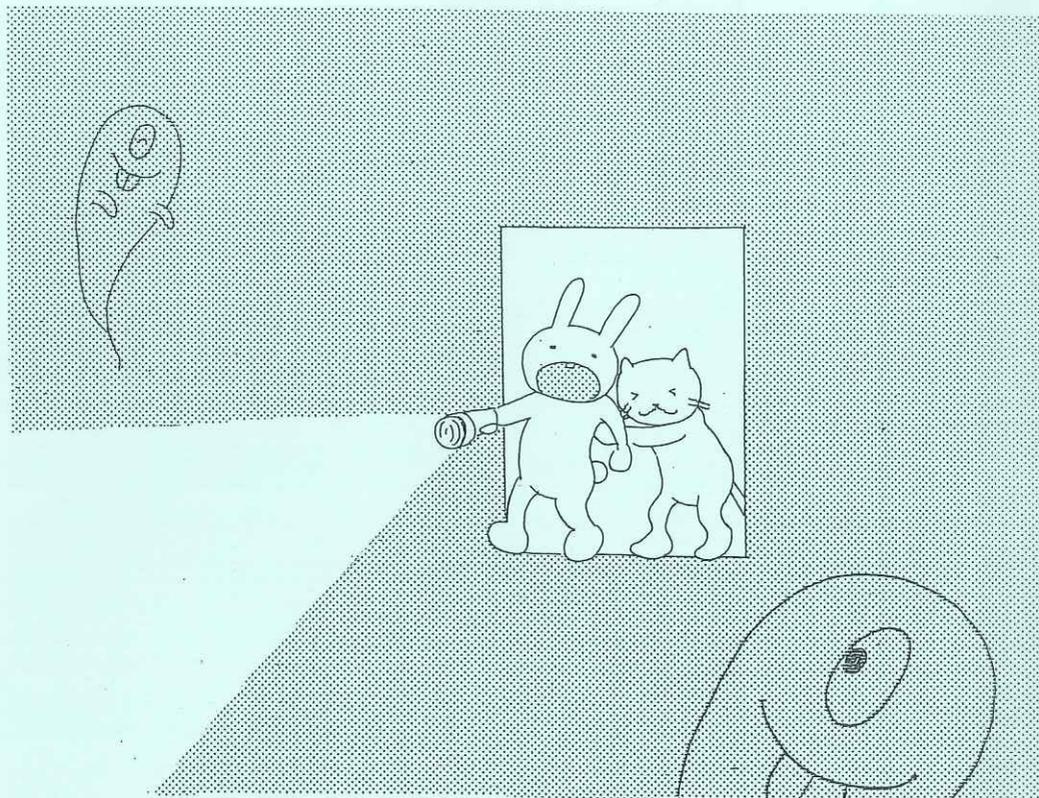
一般向け 今川図書館だより

いまがわーど

2015年7月号

今月のテーマ

「ゾットする」



今月の特集「ゾットする」

ミステリーホラーを中心に、人間の恐ろしさを描く物語など、ゾットする怖い本をご紹介します。
妖怪・幽霊に関する民俗学の分野も特集します。

『エドワード・ゴーリーが愛する12の怪談 憑かれた鏡』

E・ゴーリー 編 2012年 河出書房新社 [BRコ]

大人のための絵本といわれる作品を数々生み出した奇才、エドワード・ゴーリーが選ぶ、イギリスを代表する作家の怪奇小説アンソロジー。エリガントで洗練された、じわりじわりと浸み込んでくる恐怖を楽しめる。

『プロメテウスの涙』

乾ルカ 著 2009年 文芸春秋 [イ447]

精神科医の涼子のもとに現れた、原因不明のトランス状態に襲われる少女、あや香。一方、親友の裕美が担当している、アメリカの医療刑務所にいる不死の死刑囚。一見つながりもない少女と年老いた死刑囚。だが2人は驚くべき運命でつながっていた。

『ゴーストを訪ねるロンドンの旅』

平井杏子 著 2014年 大修館書店 [233ヒ]

ロンドンを8の地区に分けて、いわくつきの建物や場所を写真と地図付きで解説。英国は世界で最も幽霊人口が多く、ロンドンには霊的な現象が起こらなかった通りは無いと言われるほど。その背景には歴史のある建物や、英国人の歴史好きが関係しているのかもしれませんが。また、動物、子ども、幽霊界における最長老の古代人ゴーストや、足のある西欧のゴーストと足のない日本の幽霊の違いにも触れている興味深いコラムも掲載。

『サキ短編集』

サキ 著 1981年 新潮社 [BRサ]

日本のSFやホラー作品にも多大な影響を与えた21の短編集。残酷非情で心を凍らせるような風刺をきかせるサキの心理描写にはゾクッとさせられる。オー・ヘンリーと並び称される短編小説の名手サキは、海外ではとても親しまれている一方、日本においてはあまり知られていないのが残念。

『OUT』(上・下)

桐野夏生 著 2002年 講談社 [BGキ]

深夜の弁当工場で働くパート仲間の主婦たち4人。それぞれが抱える家庭の悩みと、出口の見えない現状から逃れられない苛立ちと失望感。ある日、同僚が夫を殺害した事をきっかけに、日常から「OUT・アウト」していくのだが…。本作で日本推理作家協会賞を受賞後、米国のエドガー賞に日本人で初めてノミネートされた。

『妖怪 大人の探検』

小松和彦 監修 2015年 有楽出版社 [388コ]

子どもの頃怖かったあの妖怪を、大人になった今、学問的に妖怪学として読み解いてみませんか。妖怪の現れる場所を山里、水辺、町ごとに分けて紹介している楽しく読める妖怪研究読本。妖怪を知れば日本人の心がわかる。

～絵本なのに怖い怪談絵本シリーズ～

人気作家がつづる文章とゾクッとさせる絵は大人だって怖い。

視覚でも楽しめる上質な怪談絵本。

『いるのいないの』 京極夏彦 作 2012年 [EC]

『おんなのしろいあし』 岩井志麻子 作 2014年 [EC]

『かがみのなか』 恩田陸 作 2014年 [EC]

『悪い本』 宮部みゆき 作 2011年 [EC]

(すべて岩波書店)

YA におすすめ!

6月に職場体験に来てくれた荻窪中学2年生の生徒さんが
中高生のみなさんにおすすめの本を紹介します

『一瞬の風になれ』(全3巻)

佐藤多佳子 著 2006年 講談社 **サ139**

小さな頃からずっとサッカーを続けていた新二と、中学生の時に陸上で全国大会に出た経験を持つ、幼なじみの連。高校生になり、連に言われた一言「新二も走る?」この言葉をきっかけに、限界を感じていたサッカーをやめ、陸上を始めた新二の高校三年間を描いた作品。

『出身県でわかる人の性格』

岩中祥史 著 2003年 草思社 **361.4イ**

昔から、いろいろ言われてきた県民性。確かに自分の周囲の人間を見渡してみると、当たっている点が多いかも…? 県民性を正しく理解すれば、人間関係の無用な摩擦に悩まされることなく、快適な生活を送ることがきっとできるかも!?

新着本コーナー

最近今川図書館に入った本から、お勧めの本を紹介します。
(新着コーナーにあるものもあります)

『絵から読み解く江戸庶民の暮らし』

安村敏信 監修 2015年 T Oブックス **382テ**

広重、歌麿、豊国、芳年、国貞など、江戸を代表する絵師による浮世絵。そこには時代劇や小説だけではわからない「江戸庶民の暮らし」の一端が見える。江戸を、浮世絵や版本など様々な視点から眺めた、歴史エンターテイメントというべき一冊。

『日本の森列伝』

米倉久邦 著 2015年 山と溪谷社 **650ヨ**

森林インストラクターの著者が北海道から沖縄まで12か所の森を訪れたルポをまとめた一冊。人と森の関わりに重点を置いて綴っている。日本の国土の7割が森林である事に驚かされる。

『素敵と言われる大人のゆかた美人練習帖』

森荷葉 著 2015年 講談社 **593.8モ**

これからの季節にピッタリなゆかた。大人がより素敵に見えるTPOに合わせた選び方から、着付け、帯結びのコツまで。ヘアメイクもちろん、体型を綺麗に見せる秘訣も紹介。

『ジハーディストのベールをかぶった私』

アンナ・エレル 著 2015年 日経BP社 **956エ**

ヨーロッパでは、ネットを通じて中東の過激派組織ISにアクセスする若者が増加しているという。フランス人女性の著者がジャーナリストの身分を隠し、メロディーという仮名でフェイスブックを通じてISの幹部と接触をした、約一か月に及ぶ取材記録。デジタル世代が陥る罠の実態に迫る。



7月今川図書館カレンダー



日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
				おはなし会		
5	6	7	8	9	10	11
	休館日			おはなし会		
12	13	14	15	16	17	18
	おはなし会			休館日		図書館ツアー
19	20	21	22	23	24	25
	おはなし会			おはなし会・小学生のためのおはなし会		
26	27	28	29	30	31	
	おはなし会	赤ちゃんおはなし会				
開館時間 月～土9時～21時 ○の日(日曜・祝日)は9時～17時 休館日 第1月曜日・第3木曜日						

おはなし会については児童向け図書館だよりをご覧ください
 杉並区立今川図書館

杉並区今川4-12-10 TEL 03-3394-0431